

## 2 子どもを育てることの喜びと責任

### (2) 自立した親としての責任、生活に必要な経済的基盤の必要性

#### ① 出産にかかる費用はどれくらいかかるの？

全国平均	鹿児島県	※ 最も低いのは、鳥取県の 335,607 円 最も高いのは、東京都の 497,872 円 本県は、全国で6番目に低い。
416,727 円	363,326 円	

注：上記の入院分娩費用は、平成 24 年度のもので、室料差額、産科医療補償制度費用、その他(お祝い膳など 医療外費用)を含まない。 ■出典 厚生労働省「第 18 回 社会保障審議会医療保険部会資料」(平成 26 年 7 月 7 日)

#### ② 子どもの学費はどれくらいかかるの？

幼稚園から大学までの学費は、約 1,000 万円～2,500 万円。

注1 養育費は含まない。

注2 幼稚園から高等学校にかかる学費は、授業料、学校教育費、学校・幼稚園給食費、学校外活動費(学習塾・習い事の月謝)を合計した金額 ■出典 平成 24 年度子供の学習費調査(文部科学省)

注3 大学にかかる学費は、入学費(受験費用、入学金等の納付金、入学しなかった大学への納付金)、在学費(授業料、通学費、教科書代等4年間分)を合計した金額 ■出典 平成 26 年度教育費負担の実態調査結果(日本政策金融公庫)

※ 資料①、資料②の扱いについて

あくまでも、経済的基盤が必要であることの実例として提示したものであり、経済的自立への自覚を促すためのデータである。

「子育てに対する負担感を象徴するもの」や「生徒自身の進路選択をせざるもの」にならないよう留意する。

#### ③ 妊娠・出産時や子育てに関する助成制度等を活用しましょう!

子どもを育てるには、経済的基盤が必要です。

しかし、さまざまな機関・自治体から受けられる助成も様々な種類があり、家計負担を軽減することができます。

制度について正しく理解し、忘れずに申請を行うことも、大切な責任と言えます。